

一般質問



一般質問は、9月26日、27日、28日の3日間、17人の議員によって行われました。質問は、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。一般質問は、5面・6面にも掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



創秦クラブ 村上 茂

生産緑地と農振農用地の状況を踏まえた次期都市マスタープランの検討を

一 次期「秦野市都市マスタープラン」について
 問 都市化の時代から安定・成熟した都市型社会に移行している状況で、次期都市マスタープランにおける将来都市構造と求められる都市機能についての考えはどのようか。

答 現都市マスタープランの都市構造を踏まえ、市街化区域内の居住や都市機能を集約する区域と市街化調整区域や緑辺部にある学校区などを連携する公共交通ネットワークの強化といった、本市の特性やバランスに配慮した都市の構造と機能が求められている。
要望 将来の社会環境の変化に対応するため、コンパクトシティの形成に向けた取り組みを進めてほしい。
問 近年の都市農業振興の考え方から市街化区域内における農業も重要と考えるが、市街化区域内の農業系土地利用についての考えはどのようか。
答 居住の誘導に合わせて居住誘導区域の外側における農業振興施策との連携を検討するなど、市域全体に目配りをした中で、都市計画画法改正により新設された用途地

生産緑地と農振農用地の状況を踏まえた次期都市マスタープランの検討を

域、田園居住地域の活用について今後、調査・研究していく。
要望 市街化区域と市街化調整区域は連続した土地空間であり、同一の農地と考える。今後は、両区域における農業の在り方について検討してほしい。



緑水クラブ 高橋 文雄

プログラミング教育の必修化

一 プログラミング教育の必修化について
 問 平成29年3月に告示された小学校の学習指導要領に初めてプログラミング教育が導入され、32年度から必修化されるが、本市の取り組みはどのようか。
答 必修化に向けICT授業活用



必修化されるプログラミング教育への対応を(写真は、上小学校でのICT教育の様子)



民政会 和田 厚行

避難所機能の充実に向け学校体育館に空調設置を

一 小中学校の体育館へのエアコン設置について
 問 地震や台風などの自然災害が多発する中で、災害時の避難場所となる学校体育館に空調設備が設置されていない状況にある。被災住民の避難生活の拠点となる避難所の生活環境の向上を図るため、学校体育館への空調設備の設置が必要と考えるが、見解はどうか。
答 本市では、第一次避難所として小・中学校22校全てを指定している。また、平成25年の災害対策基本法の改正により、避難所の生活環境整備が規定された。学校体育館への空調設備の設置には多額の費用が必要となることから、すでに設置した普通教室を高齢者などの要配慮者スペースとして活用することとしている。なお、近年の異常気象を踏まえ、緊急時には自治体や民間事業者に必要な機器を提供いただく災害時応援協定による補充などによって、避難所機能の充実に努めているところである。
問 多額の費用が必要であることは理解するが、これは予算を伴う必要があるが、見解はどうか。
答 必要と考えるが、見解はどうか。本市では、第一次避難所として小・中学校22校全てを指定している。また、平成25年の災害対策基本法の改正により、避難所の生活環境整備が規定された。学校体育館への空調設備の設置には多額の費用が必要となることから、すでに設置した普通教室を高齢者などの要配慮者スペースとして活用することとしている。なお、近年の異常気象を踏まえ、緊急時には自治体や民間事業者に必要な機器を提供いただく災害時応援協定による補充などによって、避難所機能の充実に努めているところである。



市街化区域と市街化調整区域の農業の在り方について検討を



自民・新政 風間 正子

若い力を積極的にまちづくりへ

一 女性管理職の登用について
 問 女性管理職登用の取り組みや目標、その達成状況はどのようか。
答 「女性職員の活躍を推進するための特定事業主行動計画」などにおいて、女性職員の登用や働きやすい環境づくりを主要な取り組みの一つと位置づけ、推進している。課長級以上の職員における女性管理職の割合は平成31年度末までに12%以上を目標としており、30年度当初の実績は11.5%と未達成だが、課長代理級職員について必要だがその対応は、どうか。
答 ①健康を支援するコミュニティの実現、生活習慣の改善と環境づくり、生活習慣病の重症化予防などを定め推進している。②重症化させないためには若い世代からの健康づくりが重要であり、身近な場所で気軽に生活習慣の改善ができる環境づくりを進めていく。

二 市民の健康増進の施策について
 問 健康寿命が延伸し、人生100年時代を迎えている。一方で生活習慣病などの増加が課題である。健康づくりの重点的な施策は、①生活習慣から重症化への対応策



体育館へのエアコン設置を(写真は、簡易的な暖房設備を備えた東中学校体育館)

政策的な案件であるため、市長・教育長に見解を問う。
答 費用面から直ちに行うことは困難であるが、より効率的で安価な空調方式を研究するなど、防災部門と教育部門が連携し、避難所機能の充実に努めたい。
意見 避難所の環境整備は時代の流れであり、分割して導入するなど先を見据えた施策が必要である。

二 学生のまちづくりへの参画について
 問 学生を対象とした研修会やワークショップを開催することのことだが、具体的にどのように取り組んでいくのか。
答 学生が関心のあるテーマを設定した楽しめるワークショップや自分のまちがどうあつてほしいかその上で自分ができることは何かを考えられるような研修会などの開催を検討している。
要望 次世代を担う学生のまちづくりへの参画を推進するため、駅周辺に市民団体や学生が集える環境の整備を検討してほしい。



民政会 諸星 光

幼児期から秦野らしい特色ある教育を

一 道徳教育について
 問 平成30年度から小学校では道徳教育が教科化され、31年度から中学校でも導入・完全実施となる学校における道徳教育の充実に向けた取り組みはどのようか。
答 秦野の子どもたちがより良く生きるための基礎となる道徳性を養うことを目的に「考え、議論する道徳、学ぶ意欲の向上」につながる授業や評価方法を実現するため、教職員が研修を重ね、道徳教育を推進し、充実に努める。
二 幼児教育無償化について
 問 幼児教育無償化は、平成31年10月の実施を目指しているが、公立離れと財源負担といった懸念への対応はどのようか。
答 公立幼稚園には、幼児教育の本質である幼児の自発的な活動を大切にするという教育理念があり、今後、無償化に伴う園児数の動向や保護者のニーズを踏まえ、公立幼稚園の役割と必要性について検討していく。財源負担は、国の責任による全額負担を求めているが、引き続き要望していく。
三 森林環境税について
 問 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止などを図るため、平成31年度から分配される森林環境税の活用はどのようか。
答 公共施設への木材利用、人材育成や担い手の確保、秦野産材の普及啓発など新たな活用を検討し、今後は、水環境保全税の活用と併せ、森林の保全・再生を図る。



特色ある幼児教育を



学生のまちづくりへの積極的な参画を(写真は、産・学・官合同ワークショップの様子)

議長公務 (7月~9月)
 議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。



阿蘇 佳一 議長

- 7月
 - 10日(火) ~ 11日(水) 県央八市議会議長連絡協議会定例会・議長研修会
 - 12日(木) 平成30年度圏央道・新東名等整備促進大会
 - 23日(月) 平成30年度鈴川改修整備促進協議会委員会
- 8月
 - 3日(金) 平成30年度秦野市戦没者追悼平和祈念式典(副議長同席)
 - 22日(水) 平成30年度3市3町広域行政推進協議会総会(副議長同席)
 - 29日(水) 平成30年度神奈川県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会
- 9月
 - 22日(土) ~ 23日(日) 第71回秦野たばこ祭開会式、オープニングパレード、交流会